

田辺湾周辺海域の腔腸動物相 鉢水母綱 (刺胞動物門)

久保田 信

Faunal list of Coelenterata collected from Tanabe Bay and its vicinities.

Class Scyphozoa (Phylum Cnidaria)

SHIN KUBOTA

鉢水母綱は大形のクラゲ世代が優勢な分類群で、わが国沿岸からは、これまで4目約30種が知られている(久保田, 1992; 平野・安田, 1997)。クラゲ世代に比べてポリプは単体性の小形であるため野外から発見されにくい。しかし、成熟クラゲからプラヌラ幼生を採取して、室内でポリプに変態させるのは比較的容易なため、各地の水族館などでクラゲとともに飼育展示されているポリプの種類も多々ある。ところが、田辺湾沿岸の岩礁で普通に見られるエフィラクラゲ *Nausithoe punctata* のポリプは通称イラモと呼ばれ、和名の通り刺胞毒が強いことでよく知られているのだが、この種は、本綱では例外的にポリプ世代が優勢で、野外で肉眼で容易に発見できる大きさ(大人の握り拳ほど)の群体を形成し、かつ共肉部全体を被う堅い囲皮を分泌しているといった独特のものである(Komai, 1935, 1936, 駒井, 1936)。イラモの飼育は困難ではなく、比較的長期間にわたり可能で、当水族館では、ミズクラゲのポリプと同様に周年飼育展示されている(山本ほか, 1996参照)。

鉢水母綱の特徴として、深海性のクロカムリ

田辺湾周辺海域で記録された鉢水母綱のリスト

クラゲ

Order Semaestomae 旗口クラゲ目

Aurelia aurita (Linnaeus, 1758) ミズクラゲ

Chrysaora melanaster Brandt, 1838 アカクラゲ [*Dactylometra longicirra* Kishinouye, 1892; *D.*

ferruginaster Kishinouye, 1892; *Chrysaora gilberti* Kishinouye, 1899; *C. convoluta* Kishinouye, 1910;

Dactylometra pacifica Goette, 1886]

Cyanea nozakii Kishinouye, 1891 ユウレイクラゲ

Pelagia noctiluca (Forskål, 1775) オキクラゲ [*Pelagia panopyra* Péron and Lesueur, 1809]

クラゲ *Periphylla periphylla* (Péron and Lesueur, 1809)をのぞき、どの種もポリプが横分体を形成し、1個あるいは多数のエフィラを遊離させる。このエフィラはそれぞれがプランクトン生活を送りながら成熟クラゲへと変態し、有性生殖により次世代のプラヌラをつくる。この幼生が様々な基質に着生してポリプとなるといった生活史をたどっている。鉢ポリプの内部形態的特徴は、常に4枚の隔膜を胃腔部に有することで、一方、鉢クラゲは眼点と平衡石を含む精度のすぐれた感覚器をもつ。また、鉢クラゲの胃腔に胃糸とよぶ触手状の器官が必ず見られる。また、大形のものでは、口唇が伸長して口腕となる。

田辺湾周辺海域からは、10属10種の鉢水母綱のクラゲが記録されている。日本沿岸全域では約30種であるから、本海域には全体の1/3の種が見られることになる。以下のリスト(目ごとに学名のアルファベット順に示す)では、シノニムは[]中に並記し、和名があればそれを付した。リスト中、瀬戸(白浜)付近が模式産地となっている種はない。

Sanderia malayensis Goette, 1886 アマクサクラゲ [*Neopelagia eximia* Kishinouye, 1910]

Order Rhizostomae 根口クラゲ目

Cephea cephea (Forskål, 1775) イボクラゲ

Mastigias papua (Lesson, 1830) タコクラゲ [*Mastigias physophora* Kishinouye, 1895]

Netrostoma setouchiana (Kishinouye, 1910) エビクラゲ

Thysanostoma thysanura Haeckel, 1880 ムラサキクラゲ [*Thysanostoma denscriptum* Kishinouye, 1895]

Order Coronatae 冠クラゲ目

Nausithoë punctata Kölliker, 1853 エフィラクラゲ

ポリプ

Order Coronatae 冠クラゲ目

Nausithoë punctata Kölliker, 1853 エフィラクラゲ [*Stephanoscyphus racemosum* Komai, 1936 イラモ]

参考文献

Kishinouye, K. 1910. Some medusae of Japanese waters. J. Coll. Sci., Imp. Univ., Tokyo, 17, art 9: 1-35, pls. I-V.

Komai, T. 1935. On *Stephanoscyphus* and *Nausithoë*. Mem. Coll. Sci., Kyoto Imp. Univ., Ser. B, 10(5): 289-339, pls. 21-22.

Komai, T. 1936. On another form of *Stephanoscyphus* found in the waters of Japan. Mem. Coll. Sci., Kyoto Univ., Ser. B, 11(3): 175-183.

駒井 卓. 1936. イラモ *Stephanoscyphus* に就て. Zool. Mag. 48(8-10): 535-544.

Komai, T. & Ikari, J. 1929. The Seto Marine Biological Laboratory of the Kyoto Imperial University. Its equipment and activities, with remarks on the fauna and flora of the environs. (A revised article). Rec. Oceanogr. Works in Japan, 1(3): 113-129, pls. 27-35.

Kramp, P. L. 1961. Synopsis of the medusae of the world. J. mar. Biol. Ass. U.K., 40: 1-469.

久保田 信. 1992. 鉢虫綱. in 西村三郎編著, 原色日本海岸動物図鑑 [I]. pp. 60-69, pls. 10-12, 保育社, 大阪.

久保田 信・森 義純・田名瀬英朋. 2000. 和

歌山県田辺湾に出現した大形のユウレイクラゲ(刺胞動物門、鉢虫綱). 南紀生物, 42(2): 125-126.

平野弥生・安田 徹. 1997. 鉢虫綱. in 奥谷喬司・武田正倫・今福道夫編, 日本動物大百科 7 無脊椎動物, pp. 28-31, 42-43. 平凡社, 東京.

Tokioka, T. 1964. Occurrences of purplish individuals of *Cephea cephea* (Forskål) in the vicinity of Seto. Publ. Seto Mar. Biol. Lab., 12(2): 149-156.

時岡隆. 1982. 「海の生物」白浜町誌 自然編 白浜の自然. pp. 165-233, 白浜町.

Tokioka, T. and Nishimura, S. 1970. Record of an unusually large specimen of *Thysanostoma thysanura* Haeckel (Scyphozoa: Rhizostomae). Publ. Seto Mar. Biol. Lab., 17(6): 429-437.

山本泰司・太田 満・久保田 信. 1996. 瀬戸臨海実験所水族館における特集展示「刺胞動物」瀬戸臨海実験所年報, 9: 28-33.

Yamazi, I. 1958. Preliminary check-list of plankton organisms found in Tanabe Bay and its environs. Publ. Seto Mar. Biol. Lab., 7(1): 111-163.